

～ほっかいどうの防災教育の集い 第18号(令和7年10月27日発行)～

■ 広報紙ほっかいどう 11月号発行／北海道

■ 11月5日は「津波防災の日」／北海道

■ コミュニティ FM 三角山放送局「安全安心わが街わが家」番組出演について <地震津波への備え>/北海道

■ 第6回これからの災害支援を考える北海道フォーラム／北の国災害サポートチーム

* . * . ° ♦ . * . * * . . * . ° ♦ . * . * * . * . * . ° ♦ . * . * * . * . * . ° ♦ . * . * * . * . * . ° ♦ . * . * * .

10月23日（木）から新聞折込等で配布を開始しました。

特集は、「津波から命を守るために」

北海道は四方を海に囲まれており、これまでも多くの津波被害によって、尊い生命と貴重な財産が失われてきました。道では、東日本大震災の発生を踏まえ、最大クラスの地震が起きた際に想定される被害を公表するとともに、災害に強いまちづくりを進めています。災害はいつ起こるかわからないため、日頃から「まさかの事態」に備えましょう。広報紙では、津波警報・注意報が発表された時の避難のポイントや、非常持出品・非常備蓄品のチェックリストなどを掲載しています。ぜひご覧下さい。



■ 11月5日は「津波防災の日」

道では、イオン北海道（株）の協力を得て、11月1日から11月5日の5日間、「津波防災パネル展」を開催します。

また、11月4日から5日の2日間は、道庁1階において、「津波防災の日普及展」を開催します。

「津波防災パネル展」では、地震・津波発生のメカニズムや各市町のハザードマップ、災害用備蓄などに関するパネルの展示、「津波防災の日、普及展」では、千島海溝沿い等の巨大地震・津波対策の映像放映、海底地形図模型や津波の痕跡を示す地層剥取標本等の展示、各種リーフレットの配布などを行う予定です。ぜひお立ち寄りください。

令和7年度「津波防災パネル展」

【イオン北海道】

- 日 時：令和7年11月1日（土）～11月5日（水）
- 場 所：イオン上磯店、イオンモール苫小牧、イオン帯広店、
イオンモール釧路昭和、イオンモール札幌発寒

【道庁1階】

- 日 時：令和7年11月4日（火）9時00分～17時00分
11月5日（水）9時00分～16時00分
- 場 所：道庁本庁舎1階 特設展示場

■ コミュニティ FM 三角山放送局「安全安心わが街わが家」番組出演について ＜地震津波への備え＞

札幌市西区及び周辺地域を放送エリアとする三角山放送局で放送している「安全安心わが街わが家」に道庁危機対策課職員が出演し、安全安心に繋がる情報をタイムリーに発信しています。

10月28日（火）10:45からの回で予定しているテーマは『地震津波への備え（仮）』です。

地震・津波への備えのポイントなどを発信しますので、ぜひチェックしてください。

＜聴取方法＞

- ・FM ラジオ（76.2MHz）
- ・リスラジ <https://listenradio.jp/>

■ 第6回これからの災害支援を考える北海道フォーラム

災害時には、公的支援に加え、企業やNPOなど多様な主体による支援が求められます。本フォーラムでは、「命と暮らしを守り抜く」官民連携による被災者支援のあり方を共有し、各支援主体がつながる場を次のとおり開催します。

日時：2025 年 11 月 21 日（金）10:00～16:30

場所：かでる 2・7 5 階 520 研修室（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

対象：行政・企業・NPO・ボランティア団体など災害支援に関心のある方

参加費：来場 1,000 円／オンライン 1,000 円（午前のプログラム限定）

申込：11月16日（日）まで

申込先：<https://kitasaigai-forum6.peatix.com/>

申し込み



基調説明やクロストーク、ワークショップを通じて、次の災害に備えた支援の知見を深めます。

第6回 これからの災害支援を考える北海道フォーラム

災害から命と暮らしを守り抜く

官民連携による被災者支援

この日の出会いが**備え**になる

災害時に発生する多様なニーズへの対応には企業・専門士業、NPO等による多様な民間支援が不可欠です。本フォーラムは民間による被災者支援のネットワーク化と行政や災害ボランティアセンターとの連携強化を目的に2020年度より毎年開催しています。

官民連携によるこれからの被災者支援の創造に向け、皆さまのご参加をお待ちしております。

と き	2025年11月21日 金 10:00~16:30	と ころ	かでの 2・7 5階520研修室 札幌市中央区北2条西7丁目
-----	---	------	---

参加対象

- 行政・社会福祉協議会職員
- 企業・企業組合、労働組合に所属する方
- NPO、協同組合、ボランティア団体に所属する方
- 被災者援護協力団体
- ボラサポ（事前登録審査）被災地支援NPO助成団体に所属する方
- 災害時の支援活動に関心のある方

申し込み



※ 居住地域は問いません

共 催	北の国災害サポートチーム、NPO法人北海道NPOサポートセンター、北海道災害復興支援基金（運営：認定NPO法人北海道NPOファンド）
後 援 (予定)	北海道、社会福祉法人北海道社会福祉協議会、認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）、協同組合ネット北海道



北海道の災害中間支援組織

北の国災害サポートチーム

〒064-0808 札幌市中央区南8条西2丁目5-74
市民活動プラザ星園 201号室
NPO 法人北海道 NPO サポートセンター内

 info@kitasapo.net
 <https://kitasapo.net>
 070-2427-7793

WEB PAGE



開催目的	・災害発生時には、公的機関が法制度に基づく支援や災害ボランティアセンターが担う生活環境を改善する支援、企業やNPOなどの特色や専門性を発揮した支援が必要とされるなか、これらを有機的に組み合わせた多様な支援の構築が求められています。 ・2025年1月より開催されてきた防災庁設置準備アドバイザー会議では、「命と暮らしを守り抜く」ことを目的に官民連携による被災者支援を行う体制づくりや災害時の初動対応のみならず生活再建や復旧・復興フェーズにおける対応を含めた中長期的視点に立った災害対応の重要性が提起されました。 ・国の防災の司令塔である防災庁は2026年度中に設置予定とされているほか、本年7月1日に施行された改正災害対策基本法においても被災者支援協力団体など官民連携による被災者支援に向けた具体的な法制度の整備も進んでいます。 ・命と暮らしを守り抜くために、官民連携による被災者支援のあり方や視点を共有し、多様な支援主体間がつながりあえる場を築くことを目的に本フォーラムを開催します。	
協賛団体 募集中	以下の3つの方法で協賛いただけます ④協賛金10,000円 ：A4版1頁の広告＋無料参加（1名まで） ⑥協賛金30,000円 ：A4版1頁の広告＋無料参加（人数不問） ⑥協賛金50,000円 ：ブース出展＋無料参加（人数不問） お申し込みは事務局までご連絡ください。 来場・オンライン ともに1,000円/人 ※オンラインは半額のみ参加可能	
プログラム（予定）	10:00- 開会 10:15- 基調説明①「防災庁の設置と官民連携による被災者支援のこれから」 後藤 隆昭氏：国土交通省・北海道局総務課長 元内閣府政策統括官（防災担当） 付参事官（普及啓発・連携担当） 10:45- 基調説明②「災害中間支援組織と災害支援ネットワークの全国的動向」 明城 徹也氏：認定NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVQAD）事務局長 11:15- クロストーク「北海道における官民連携による被災者支援の構築に向けて」 話し手 北海道総務部危機対策局／北海道社会福祉協議会地域福祉部 ／北の国災害サポートチーム 聞き手 後藤 隆昭氏、明城 徹也氏 12:30- 休憩 13:30- ワークショップ「つながりは備え！次の災害に備えた被災者支援の学び」 進行 北の国災害サポートチーム 篠原 慶二 16:00- クロージング「災害から命と暮らしを守り抜くための官民連携」 16:30- 放課後タイム（参加者相互の意見交換、名刺交換など） ー以下任意参加ー 17:00- 北の国災害サポートチーム第6期定期総会（2024.10-2025.9） ・きたサボのこれまでの1年（被災者支援・決算報告・監査報告） ・きたサボのこれからの1年（役員改選・事業計画・収支予算） 19:00- 情報交換会（事前申込制）	

この事業は、「2025年度くろうさん>働く人と子どもの明日を応援プロジェクト」の協力を得て実施いたします。